

第145期 分配金見直しについて

2024年1月5日

平素は、『ダイワ・ディスカバリー・ファンド・シリーズ ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (米ドル建/毎月分配型) -通貨ドラゴン- (豪ドル・ヘッジコース)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2024年1月4日に第145期分配日を迎え、当期の分配金のお支払いを見送らせて頂きましたことをご報告申し上げます。

第145期分配日(2024年1月4日)にかかる分配金を従来の0.10米ドルから分配の見送りとなりました背景は以下の通りです。

- ①ポートフォリオの利回りの低下(グラフ1)
- ②為替ヘッジ(米ドル売・豪ドル買い)コストの上昇(グラフ2)
- ③残高減少による固定費を含む管理費用にかかる管理報酬率の上昇(表1)
- ④基準価額の水準、等。

今後とも、投資対象ファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券への投資による信託財産の着実な成長と安定した収益を目指します。引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<当ファンドの収益分配方針>

- ・管理会社は、原則として、投資対象ファンドの最終利回り、報酬等、および取引対象通貨と米ドルの金利差等を考慮した上で、分配金額を決定します。ただし、分配が行われない場合もあります。
- ・管理会社は配当収益ならびに実現および未実現利益をもとに、継続的な分配を行うことを目指します。

※分配金は、分配方針に基づいて管理会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※当ファンドの管理会社はダイワ・アセット・マネジメント・サービスズ・リミテッド(ケイマン)です。

(グラフ1)



※ポートフォリオ利回りはFidelity Internationalが作成したデータを使用しています。ポートフォリオの利回りは、債券ポートフォリオにおける保有銘柄の利回りの加重平均で算出されています。なお、デフォルト銘柄等の影響を考慮して算出されています。

(グラフ2)



※豪ドルコース・ヘッジコストは豪州と米国の1ヶ月物金利の金利差を使用しています。

(表1) 外国籍投信の費用、残高

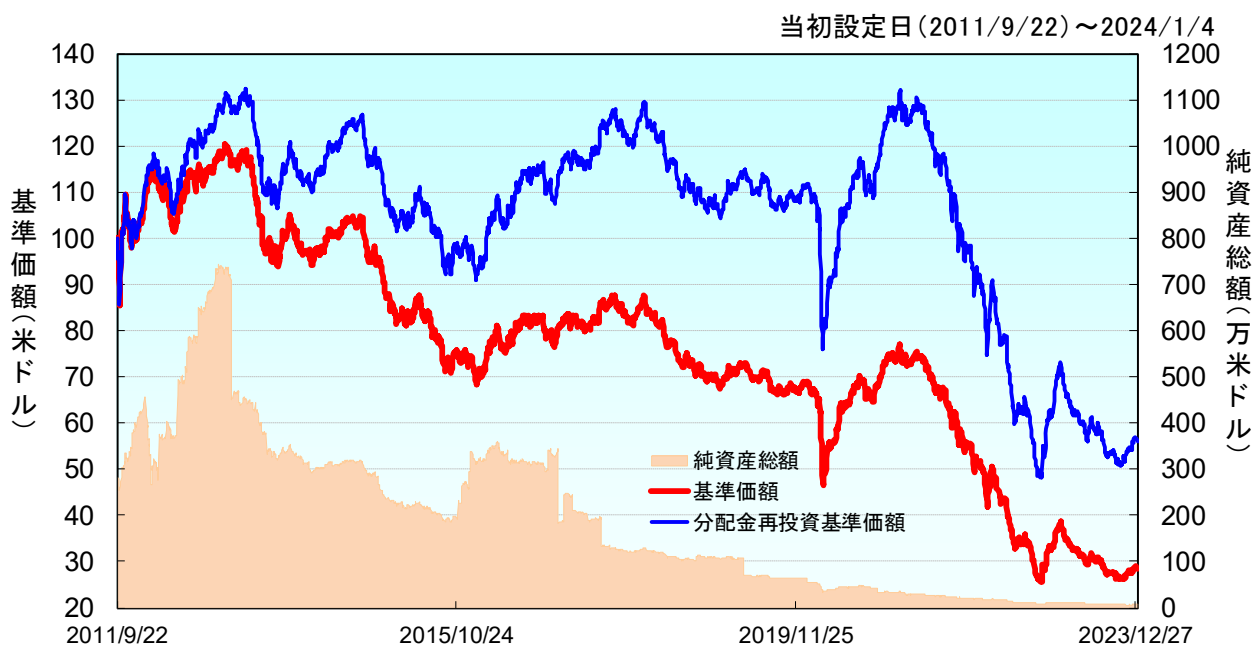
単位：千米ドル

	2020年4月1日 ～2021年3月31日	2021年4月1日 ～2022年3月31日	2022年4月1日 ～2023年3月31日
(a)外国籍投信の費用	299	257	180
(b)純資産総額合計	12,687	8,771	3,969
(うち豪ドル・ヘッジコース)	391	231	118
比率 ((a/b) × 100)	2.4%	2.9%	4.5%

(a)外国籍投資の費用は毎年3月末で終了する会計年度の報告書の「費用合計」から抜粋。
 (b)純資産総額合計は、米ドル・コース、ブラジル・リアル・ヘッジコース、豪ドル・ヘッジコースの対象期間の月末残高合計の平均値。

■ 基準価額・純資産・分配の推移 (2024年1月4日現在)

純資産総額	6 万米ドル
基準価額	28.56米ドル



分配の推移(1口当たり、税引前)

	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
分配日	(23/8/3)	(23/9/5)	(23/10/3)	(23/11/6)	(24/1/4)
分配金	0.10 米ドル	0.10 米ドル	0.10 米ドル	0.10 米ドル	0.00 米ドル

分配金合計額

設定来: 52.80米ドル

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、管理報酬等は控除しています。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金は、分配方針に基づいて管理会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

収益分配金に関する留意事項

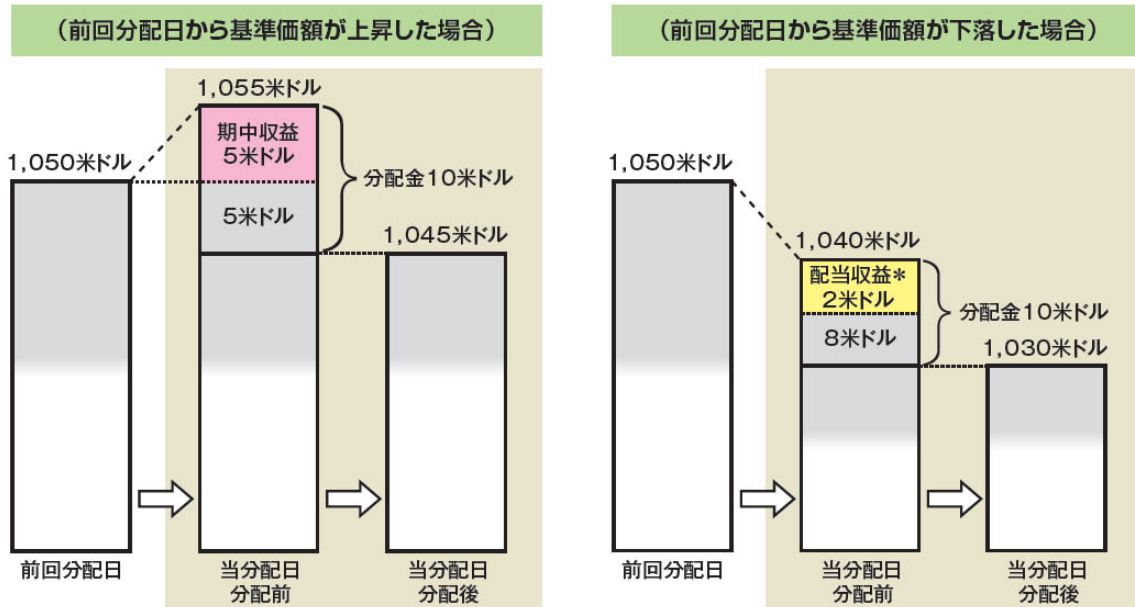
【収益分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、分配計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当分配日の基準価額は前回分配日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合（基準価額が米ドル表示の場合）

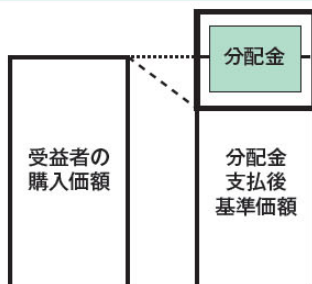


*「配当収益」には、為替取引によるプレミアムを含みます。

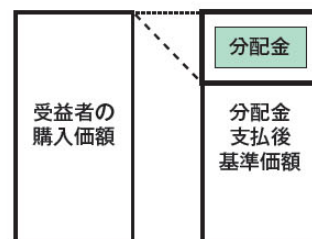
※上図表はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。分配金は、ファンドごとに、その分配方針に基づき支払われます。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には投資元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

（分配金の一部が購入価額を下回った場合）



（分配金の全部が購入価額を下回った場合）



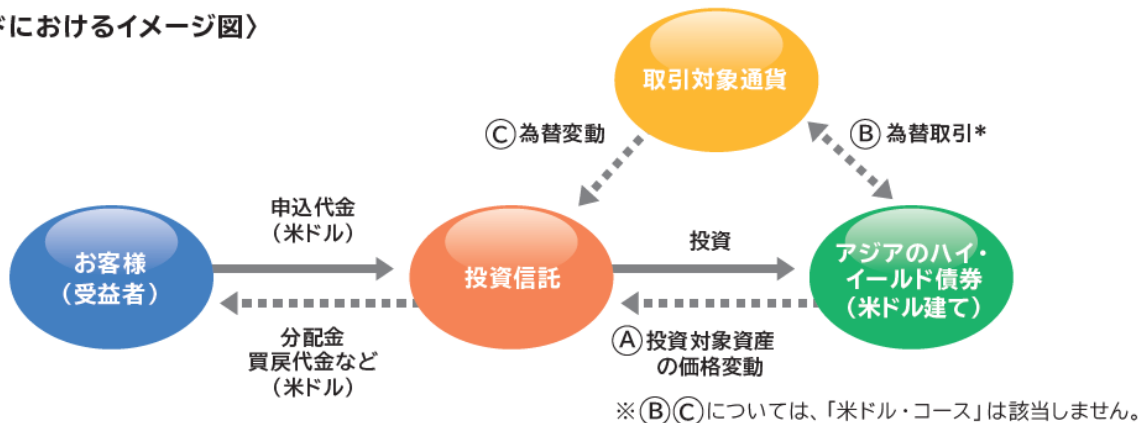
※公募外国株式投資信託は、公募国内株式投資信託の取扱いと異なり、購入価額を下回る部分についても、分配金に対して課税されます。

収益分配金に関する留意事項

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

●通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

〈ファンドにおけるイメージ図〉



*ブラジル・リアル・ヘッジコースおよび豪ドル・ヘッジコースは、取引対象通貨の対米ドルでの為替リスクが発生することに留意が必要です。

●ファンドにおける収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

	(A)	(注) (B)	(C)
収益の源泉	アジアのハイ・イールド債券の 利子収入、値上がり/値下がり	為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用)	為替差益/差損
収益を得られる ケース	・金利の下落 債券価格の上昇	取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生	・米ドルに対して取引対象 通貨高 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース	債券価格の下落 ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化	取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利 コスト (金利差相当分の費用) の発生	為替差損の発生 ・米ドルに対して取引対象 通貨安
		※「米ドル・コース」を除きます。	※「米ドル・コース」を除きます。

(注) 為替取引に関する規制が多い新興国通貨の場合、為替取引を行う際にNDF取引を利用する場合があります。

NDF取引を用いて為替取引を行う場合、プレミアム/コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上図表はイメージ図であり、投資成果を示唆または保証するものではありません。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

アジアのハイ・イールド債券への投資による信託財産の着実な成長と安定した収益を目指します。

ファンドの特色

- アジアのハイ・イールド債券に投資します。
 - ◆ビジネスの大半をアジアで営んでいるとフィデリティが判断する企業が発行する債券のうち、BB 格相当以下^(※)の格付を付与されている債券（ハイ・イールド債券）に投資を行います。
 (※) ムーティーズ (Moody's) により Ba1 以下、S&P グローバル・レーティング (S&P) により BB+以下、フィッチ (Fitch) により BB+以下。格付を付与されていない債券を含みます。
 - ◆フィデリティ^(※)が、アジアのハイ・イールド債券に投資を行います。
 (※) FIL・インベストメント・マネジメント (香港)・リミテッドが、投資対象ファンドの投資運用会社です。
- 以下の3つのコースがあります。

※ファンドの基準価額は、すべてのコースについて、米ドル建てで表示されます。

- ◆ブラジル・リアル・ヘッジコースおよび豪ドル・ヘッジコースについて、為替取引が行われます。

米ドル・コース
為替取引を行いません。



ブラジル・リアル・ヘッジコース
米ドル売り/ブラジル・リアル買い



豪ドル・ヘッジコース
米ドル売り/豪ドル買い

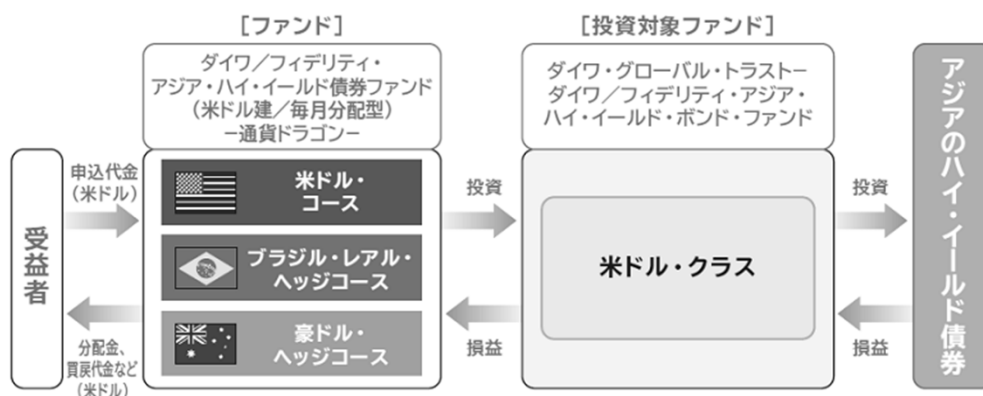


- ◆「米ドル・コース」を除き、為替取引の結果として、プレミアム（金利差相当分の収益）が期待され、またはコスト（金利差相当分の費用）の発生が予想されます。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{プレミアムまたはコスト} \\ \text{(金利差相当分の収益またはコスト)} \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{取引対象通貨の短期金利} \\ \text{(◆ブラジル・リアル ◆豪ドル)} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{米ドルの} \\ \text{短期金利} \\ \hline \end{array}$$

- ◆「米ドル・コース」を除き、取引対象通貨の対米ドルレートの上昇（米ドル安）/下落（米ドル高）により、為替差益/為替差損が生じることがあります。

- 毎月3日（休業日の場合、翌営業日）に、分配方針に従い、分配を行います。
- 投資対象ファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券に間接的に投資を行います。



※ファンドの受益証券の基準価額は、すべてのコースについて、米ドル建てにより表示されます。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「債券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク、ハイ・イールド債券への投資リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（流動性リスク）」

※取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低い場合、金利差が、ブラジル・リアル・ヘッジコースまたは豪ドル・ヘッジコースの為替取引によるコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行う場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から予想される費用の水準と大きく異なることがあります。

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ファンドの基準価額は、米ドル建てで表示されます。したがって、日本円により投資が行われる場合、各コースの基準価額の円貨相当額は、日本円および米ドル間の外国為替レートの変動により影響を受けることがあります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用											
購入時手数料	購入は、口数でのみお申込みいただけます。 購入時手数料の額は、購入口数に応じて、次に掲げる率を乗じて得た額とします。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>購入時の申込口数</th> <th>手数料率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,000 口未満</td> <td>購入金額の 3.30% (税抜 3.00%)</td> </tr> <tr> <td>5,000 口以上 5 万口未満</td> <td>購入金額の 1.65% (税抜 1.50%)</td> </tr> <tr> <td>5 万口以上 10 万口未満</td> <td>購入金額の 1.10% (税抜 1.00%)</td> </tr> <tr> <td>10 万口以上</td> <td>購入金額の 0.55% (税抜 0.50%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>購入時手数料は、購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として販売会社に支払われます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。</p>	購入時の申込口数	手数料率	5,000 口未満	購入金額の 3.30% (税抜 3.00%)	5,000 口以上 5 万口未満	購入金額の 1.65% (税抜 1.50%)	5 万口以上 10 万口未満	購入金額の 1.10% (税抜 1.00%)	10 万口以上	購入金額の 0.55% (税抜 0.50%)
購入時の申込口数	手数料率										
5,000 口未満	購入金額の 3.30% (税抜 3.00%)										
5,000 口以上 5 万口未満	購入金額の 1.65% (税抜 1.50%)										
5 万口以上 10 万口未満	購入金額の 1.10% (税抜 1.00%)										
10 万口以上	購入金額の 0.55% (税抜 0.50%)										
換金（買戻し）手数料	ありません。										
投資者が信託財産で間接的に負担する費用											
管理報酬等	ファンドの資産から支払われる総報酬は、純資産総額の年率 1.135%程度 ^(注) および年間 10,000 米ドルです。 (注) 管理事務代行報酬に最低報酬金額が設定されているため、各コースの純資産総額の合計額によっては、年率 1.135%程度を上回る場合があります。										
投資対象ファンドの報酬	年率 0.71%程度										
実質的な管理報酬等	年率 1.845%程度 ^(注) および年間 10,000 米ドル (注) 各コースの純資産総額の合計額によっては、年率 1.845%程度を上回る場合があります。										
その他の費用・手数料	ファンドは、弁護士報酬、監査人報酬、印刷費用等の直接の運営のコストおよび費用を負担する場合があります。 ※「その他の費用・手数料」については、ファンドが負担することにより、投資者の皆様が間接的にご負担いただくこととなります。これらの費用については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。										

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※これらの詳細につきましては、請求目論見書の該当箇所をご参照ください。

大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

設定は…

ダイワ・アセット・マネジメント・
サービス・リミテッド(ケイマン)

運用は…

ダイワ・アセット・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。